



「小さな親切」運動静岡県本部
創立20周年記念誌

20





「小さな親切」運動静岡県本部
創立20周年記念誌



▶▶ CONTENTS

小さな親切のはじまり…… 1

ごあいさつ

後藤代表…………… 2

鈴木運動本部代表…………… 3

川勝県知事…………… 4

20年のあゆみ

初年から5年目…………… 6

6年目から10年目…………… 8

11年目…………… 10

12年目…………… 12

13年目…………… 14

14年目…………… 16

15年目…………… 18

16年目…………… 20

17年目…………… 22

18年目…………… 24

19年目…………… 26

20年目…………… 28

主な活動紹介

「小さな親切」実行章…… 34

あいさつ運動…………… 35

作文コンクール…………… 36

クリーン作戦…………… 37

福祉施設支援事業…………… 38

里山づくり…………… 39

棚田保全活動…………… 40

収集活動…………… 41

役員名簿…………… 42

実行章の推薦…………… 44





「小さな親切」運動の始まり

昭和38年3月の東京大学卒業式において、茅誠司総長は卒業生に向けて次のような言葉を贈りました。

「さまざまな知識を持っているだけでは、エンサイクロペディア（百科事典）を頭の中にかかえて歩いている人間にすぎません。その教養を社会人としての生活の中に、どのように生かすかということが重要と存じます」

そして、あるエピソードを聞かせたのです。

新聞配達の子の自転車のチェーンが外れると、近くのバス停で待っていたおじさんが駆けつけて、あっという間に直しました。今度は近くの店からバケツと石鹼とてぬぐいを持ったお婆さんが「お洗いなさい」と言って差し出します。おじさんは「ありがとう」と言って手を洗いました。それを見ていた周りの人たちの心にも温かいものが残った、という話です。

こうした人から人へと伝わる「親切」こそ、人格形成に不可欠な要素であり、「やろうとすれば誰でもできることから始められる」と諭したのです。

この最後の告辞が世の人の心を強く動かし、「人を信じ、人を愛し、人に尽くす」ことを信条として同年6月13日に「小さな親切」運動が発足され、初代代表に茅誠司氏が就任されました。

以来、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに全国に広がり、33道府県に県本部、140市町村に支部が結成されました。

静岡県本部は、石川嘉延前県知事の要請により、県内の企業や団体、関係行政機関のご協力をいただき平成9年2月20日に創立され、おかげさまで本年2月創立20周年を迎えました。



茅 誠司（かや せいじ）

明治31年12月21日生まれ

昭和32年東京大学総長就任

昭和38年3月東京大学総長退任

昭和38年6月13日「小さな親切」運動

本部初代代表就任、23年間代表を務める

昭和63年11月19日死去



創立20周年を記念して

「小さな親切」運動静岡県本部は本年をもって、創立20周年を迎えました。これも創立以来今日に至るまで、会員の皆さまをはじめ役員の皆さま、関係諸団体の皆さまの厚いご支援とご協力の賜物と心から御礼申し上げます。

設立当初からの歩みを振り返りますと、「小さな親切」運動静岡県本部は、県のご助力のもと平成9年2月、全国35番目の地方本部として誕生いたしました。

初代代表を務められた酒井次吉郎氏は設立総会の中で『人を信じ、人を愛し、人に尽くすという「小さな親切」運動の精神を、たとえ長い時間がかかろうとも県内隅々まで広めていくことが大切である。そのためには幅広く県民に声をかけ、強固な組織作りをすることが必要である』と述べられました。

静岡県本部は地方本部としてはもっとも遅い設立ではありましたが、この言葉通り、全国的な運動として会員の増強、活動内容の充実に精力的に取り組み、設立5年を経ずして、全国有数の地方本部と言われる基盤を作り上げることができました。

その後、「クリーン作戦」などの環境美化活動、山に木を植える「里山づくり」の環境保全活動、「小さな親切」実行章の贈呈のほか、地震等による被災地支援活動、小中学生を対象とした「あいさつ運動」や「作文コンクール」の開催など、様々な活動に取り組み、多くの方々が参加いただける運動へと活動の幅を広げてまいりました。

このような長年にわたる静岡県本部の活動が評価され、昨年11月に「小さな親切」運動本部から、優れた運動を推進する地域組織に贈られる最高の賞「Best Kindness Award」を受賞いたしました。これもひとえに、会員をはじめ多くの皆さまの熱心な活動の賜物であり、皆さまとともに受賞を喜び、また今後の活動の励みにしてまいりたいと思います。

「小さな親切」運動は、人の心の奥底にある「真心」や「いたわり」「やさしさ」など、本来、人が備えている豊かな心と呼び起こし、その大切さと、道德観や倫理観を育んでいく運動です。

そして、「小さな親切」運動の活動を通して、世代を超えた心の交流が生まれ、何よりも、地域の絆と連携を深めることができるものと信じております。

価値観が多様化し、格差の拡大が問われ、人々の心を一つにすることがますます難しくなっていく時代です。このような時代だからこそ、「小さな親切」運動の果たす役割はいよいよ重要になってくると思います。

創立20周年にあたり、「小さな親切」運動の原点に立ち返り、地域の未来を担う子どもたちや、それを支える皆さんとともに、この静岡県が心豊かな郷土、善意あふれる地域社会となりますよう精一杯努めてまいり所存です。

皆さまにおかれましては、引き続き本運動へのご理解と、変わらぬお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げ、記念誌発刊のご挨拶とさせていただきます。

「小さな親切」運動静岡県本部

代表 **後藤 正博** (静岡銀行取締役)



創立20周年を祝して

公益社団法人「小さな親切」運動本部

代表 **鈴木 恒夫** (元文部科学大臣)



この度は、「小さな親切」運動静岡県本部が創立20周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

静岡県本部は、平成9年に発足した全国では比較的新しい組織ではありますが、県内全域に小さな親切の種をまかれ、全県ぐるみの運動を力強く推進されておられます。その取り組みは独自性に富むとともに多岐にわたり、さらには会員数は全国一位を誇り、現在では全国運動の範となりました。

静岡県本部は数多くの事業を展開されていますが、中でも次代になう青少年の豊かな心づくりには力を注がれています。「あいさつ運動協力校」を指定し、小中学生のコミュニケーションの基本となるあいさつの励行を呼びかけているほか、平成25年度からは「作文コンクール」を開始。運動本部に寄せられた作文は優秀な作品が多く、多くの賞を受賞されました。

また、県内各地で「環境美化事業」「環境保全事業」に取り組み、環境美化に努めるだけでなく、ごみを捨ててはいけないという道德心や、郷土を愛する心を育む一助にもなっています。

このような成果は、後藤正博県代表をはじめ歴代表や役員の皆様、会員の皆様が、この活動を通して地域の環境を守り、人と人とをつなぐ思いやりの心を育てたいというご熱意の賜物であると存じます。

こうした静岡県本部の活動に対し、運動本部では過去2回、「『小さな親切』運動大賞」を贈呈しております。また、昨年11月の全国表彰式では、運動大賞を上回る最高賞として新設した「Best Kindness Award」を贈呈し、20年にわたる熱心な活動を称えました。誠にありがとうございます。

私は、「小さな親切」運動の6代目の代表を仰せつかって以来、「日本の美風の『蘇生』と『新生』」を活動目標にかかげて参りました。また、自分自身には「人にやさしく、自分に強く」をモットーに、他者を思いやる優しい心を持ち、常に自分には厳しい目を持つことを課して参りました。

「小さな親切」運動が発足した54年前と、日本を取り巻く環境は大きく変わりましたが、東京オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、日本人が元来持つ親切な心や道德心を今一度世界に発信したいと考えております。

静岡県本部の皆様におかれましては、どうか今後も「小さな親切」運動を通じて、日本の美風ともいえる郷土を想い、人を思いやる心を育てる運動を推進していただきたくお願い申し上げます。

終わりに、今日までの静岡県本部の皆様の活動に深く敬意を表し、今後一層のご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

創立20周年を祝って

「小さな親切」運動静岡県本部

名誉顧問 **川勝 平太**（静岡県知事）



「小さな親切」運動静岡県本部は、平成9年2月の創立以来、「できる親切はみんなでしょう それが社会の習慣となるように」のスローガンの下、会員数2万7千人余を擁する全国屈指の地方本部として活動を続け、この度、20周年の節目を迎えました。会員の皆様のこれまでの活動に対して、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

県本部では、設立当初から実施している「クリーン作戦」のほか、「小さな親切」実行章の贈呈など、様々な事業や社会貢献活動に取り組み、「小さな親切」運動の普及に努めてきました。また、近年では、静岡県と協定を結び「しずおか未来の森サポーター」の一員として植樹活動を行なう「里山づくり」や、県本部主催による作文コンクールなど、特色ある事業にも取り組んでいます。

特に、作文コンクールは、子供たちが親切の大切さやすばらしさを改めて発見する機会となっており、子供たちの「思いやりの心」を育み、「小さな親切」運動の更なる拡大につながるものと考えています。

こうした県本部の活動は、全国的にも高く評価されており、2度の「小さな親切運動大賞」受賞のほか、昨年11月には、優れた運動を推進する地方本部の功績を称えるために新設された、「Best Kindness Award」を受賞しました。

これもひとえに、会員の皆様の御尽力の賜物であり、皆様の日頃の活動に対して、改めて感謝申し上げます。

本県は、「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」を県政の基本理念に掲げ、その礎となる人材を育成するため、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し、行動する「有徳の人」づくりを進めています。

このような中、「小さな親切」運動は、まごころや思いやりの心を育み、地域の未来を担う人材を育成するものとして、大変重要な役割を果たしています。

会員の皆様におかれましては、引き続き、「小さな親切」運動の輪が大きく広がっていきますよう一層のお力添えをお願いいたします。

結びに、会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



「小さな親切」運動静岡県本部

20年のあゆみ

初年から5年目.....	6
6年目から10年目.....	8
11年目.....	10
12年目.....	12
13年目.....	14
14年目.....	16
15年目.....	18
16年目.....	20
17年目.....	22
18年目.....	24
19年目.....	26
20年目.....	28



創立初年から5年目

「小さな親切」運動静岡県本部は、平成9年2月20日に全国35番目の地方本部として誕生いたしました。発足後初めての活動として、県内で「グリーン大作戦」を実施しました。最初は、3月30日静岡市葵区の駿府公園で開催され、当日は予想を上回る1,300人が参加、大成功を収めました。

「小さな親切が大切なことは誰でも頭では分かっている。けれどその小さな親切をする勇気がなかなか形に表せない。それを例えば清掃活動という『誰もができること』をみんなですることによって形に表し、『心』に『行動』に刻み込んでいけたら」という思いから始まりました。

県本部事業

平成9年2月	設立総会開催（20日） 街頭宣伝活動実施（青葉公園）
4月～5月	第1回グリーン作戦実施 （発足後初めての活動） キープ・グリーン運動スタート
4月～6月	あいさつ運動強化期間
11月	第1回実行委員会開催
12月	「小さな親切」運動34周年記念 「大会表彰」受賞
平成10年4月	第2回総会開催
5月	車輛用ステッカー「投げ捨てしませんグリーン走行中」配布
1月	県校長会へ運動参加依頼（小中学校）
平成11年4月	第3回総会開催
11月	車椅子100台を運動本部へ寄贈（はごろもフーズ株式会社より寄贈された分を再寄贈）
1月	「あいさつ運動協力校」活動スタート
平成12年4月	第4回総会開催
12月	運動本部全国フォーラム「小さな親切」運動大賞受賞
2月	ポイ捨て防止立看板の設置（計200枚）
平成13年4月	第5回総会開催 心の活動「一日一善マイハート運動」スタート（「小さな親切」ハカ条を日常生活の中で実践）



設立総会

社会の動き

平成9年2月	中国の鄧小平氏が死去
4月	消費税3%から5%へ引上げ
7月	香港、イギリスから中国に返還
8月	英国のダイアナ元皇太子妃事故死
9月	マザーテレサ氏死去
10月	長野新幹線開業
11月	北海道拓殖銀行・山一証券破綻
平成10年2月	長野冬季五輪開催
4月	金融ビッグバン始動
5月	若乃花横綱昇進、若貴兄弟横綱誕生
7月	小渕恵三内閣発足
平成11年1月	欧州連合（EU）の単一通貨ユーロ11カ国で導入
4月	改正男女雇用機会均等法施行
10月	世界人口60億人を突破
平成12年3月	北海道の有珠山噴火
4月	介護保険制度施行 森喜朗内閣発足
7月	沖縄サミット開催
9月	シドニーオリンピック開催
12月	ノーベル化学賞受賞（白川英樹氏）
平成13年1月	ブッシュ氏第43代米大統領に就任
4月	小泉純一郎内閣発足
6月	確定拠出年金「日本版401K」法成立
9月	アメリカで同時多発テロ
12月	ノーベル化学賞受賞（野依良治氏） 敬宮愛子様誕生
平成14年1月	欧州単一通貨ユーロ現金流通始まる
2月	ソルトレークシティ冬季五輪開催



平成9年街頭宣伝活動を行う酒井代表と石川県知事

コスモス作戦

運動本部の活動「日本列島コスモス作戦」に、初年度から総力をあげて取り組みました。

コスモスは、「小さな親切」運動のシンボルフラワーで、花言葉はまごころ。「コスモスを日本中に咲かせて心ふれあうあたかなまちづくりの輪を広げよう」というコンセプトのもと、県本部でも6月から8月にかけて、学校や地域団体に声を掛け、河川敷、遊歩道、学校周辺、老人ホームなど、清掃や草刈りの後コスモスの種を蒔きました。

秋には県内各地でコスモスが満開の花をつけました。お花畑の中に小道をつくり、園児や老人ホームのお年寄りを招いて花摘みを楽しんでもらうなどして、あたかなまちづくりの輪を広げました。



コスモスの種まき



花摘みをする子どもたち



静岡新聞 平成11年6月28日掲載

車いす寄贈運動

平成10年度は「車いすセンター・静岡」に車いす7台を寄贈しました。この車いすは、県本部副代表を務める「はごろもフーズ株式会社」が全国から自社製品の空き缶のふたを回収し、集まった約134万枚を換金して購入し、県本部をとおして寄贈されました。

翌年からは、空き缶のふたの換金額に同社が費用を足して車いすを100台購入し、全国に配布できるように、県本部をとおして運動本部へ寄贈され、平成10年から5年間に亘りたくさんの車いすが全国の病院などへ贈られました。



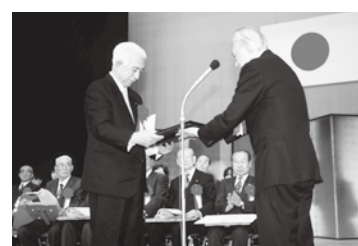
車いす贈呈式



静岡新聞 平成14年12月13日掲載

TOPICS

平成12年12月2日東京虎ノ門の日本消防会館で第37回「小さな親切」運動全国フォーラムが開催され、「小さな親切」運動大賞を受賞しました。創立3年半で、会員数22,000名、学校会員の小中学校で推進してきた「あいさつ運動」や、年間4万人を超える参加者が県内の海岸や地元商店街を清掃する「クリーン作戦」などが評価されました。



表彰を受ける酒井代表

創立6年目から10年目

平成14年4月に開催した「第6回総会」にて、県本部代表が酒井次吉郎氏から松浦康男氏に引き継がれました。発足当初より会員の皆さまと作りあげた基礎となる活動に加え、「あいさつ運動協力校」の事業拡大、福祉施設奉仕活動先への「車いすの贈呈事業」や「使用済切手と使用済プリペイドカード」の収集活動、新小学校一年生への「防犯ホイッスル贈呈」など新たな事業を開始、積極的に運動の裾野を広げていきました。

また、平成18年度は創立10周年を記念して「会員拡大運動」の実施や県内4ヶ所で「記念植樹」の実施、創立10周年記念「フォーラム」も開催しました。

県本部事業

社会の動き

平成14年4月	第6回総会開催
7月	創立5周年広報宣伝活動（県本部特集新聞記事掲載）
9月	創立5周年記念誌発行
平成15年5月	第7回総会開催
9月	NEW!!わかふじ国体応援「県下一斉グリーン作戦」開催
1月	学校会員へ本寄贈「涙が出るほどいい話」「車椅子贈呈事業」「福祉施設奉仕活動」スタート
平成16年5月	第8回総会開催
7月	浜名湖博で「福祉の店」応援と運動PR
8月	「紙芝居in静岡」スタート
11月	第1回フォーラム開催
平成17年5月	第9回総会開催
6月	紙芝居舞台セット県保育所連合会へ寄贈
8月	使用済切手と使用済プリペイドカードの収集活動スタート
11月	第2回フォーラム開催
2月	防犯ホイッスル贈呈事業スタート（県内新小学1年生へ）
平成18年5月	第10回総会開催
	防犯ステッカー会員に配布
6月	紙芝居舞台20台と紙芝居を県公立幼稚園へ寄贈
9月	創立10周年記念県下一斉グリーン作戦開催
11月	運動本部全国フォーラム「小さな親切」運動大賞受賞
	創立10周年記念フォーラム開催
1月～3月	創立10周年記念「車椅子リサイクル&リフレッシュ作戦」実施
	創立10周年記念植樹実施

平成14年5月	サッカーW杯日韓で共同開催
8月	住民基本台帳ネットワーク稼働
9月	小泉首相、北朝鮮訪問
12月	ノーベル物理学賞受賞（小柴昌俊氏） ノーベル化学賞受賞（田中耕一氏） 松井秀喜氏、ヤンキース入団
平成15年3月	イラク戦争勃発
4月	日本郵政公社発足
5月	個人情報保護法成立
10月	東海道新幹線品川駅開業
12月	地上デジタル放送始まる
平成16年1月	自衛隊イラク派遣開始
3月	九州新幹線開業
4月	浜名湖花博開催
5月	北朝鮮拉致被害者家族帰国
8月	アテネオリンピック開催
10月	新潟県中越地震発生
12月	スマトラ沖M9.0大規模地震・津波発生
平成17年2月	中部国際空港開港
4月	個人情報保護法施行 ペイオフ全面解禁 静岡市政令指定都市
平成18年1月	日本郵政株式会社発足
8月	冥王星が惑星降格、太陽系惑星8個に
9月	安倍内閣発足

TOPICS

平成9年2月から平成14年5月までの5年間、県本部初代代表を務められた酒井次吉郎氏（静岡銀行相談役）が退任し、後任代表に松浦康男氏（静岡銀行頭取）が就任されました。



松浦新代表



静岡新聞 平成14年4月24日掲載

NEW!! わかふじ国体・わかふじ大会応援クリーン作戦

平成15年に静岡県内で開催された、「NEW!!わかふじ国体とわかふじ大会」を応援するため、県内の各市町村と協力して9月と10月に「県下一斉クリーン作戦」を実施しました。

夏季大会前の9月の活動は、69地区で開催し7,354人が参加、秋季大会開催前の10月の活動は、62地区11,897人が参加しました。秋季大会では「観戦者を美しい街並みで出迎えよう」と最寄り駅から会場までの歩道の清掃や、メイン会場となる袋井市のエコパスタジアムの観客席を一つひとつ丁寧に雑巾がけしました。



ふじっぴー ©静岡県



夏季大会メイン会場での活動



静岡新聞 平成15年10月6日掲載

浜名湖花博での「福祉の店」応援とPR活動

平成16年4月8日から10月11日の間で浜名湖ガーデンパークにて開催された「浜名湖花博」のしずおかふるさと館「福祉の店」の応援と「小さな親切」運動のPRを兼ねて、8月24日来場者にマリーゴールドとニチソウの鉢植え約2,500鉢を配布しました。花の苗は、授産所で職業訓練されている方々の手で大切に育てられたもので、県本部で購入し「小さな親切」運動と授産所を紹介するメッセージカードを添えて来場者に手渡しました。



マリーゴールドの鉢植え配布



静岡新聞 平成16年8月25日掲載

TOPICS

平成18年11月18日東京虎ノ門の日本消防会館で第43回「小さな親切」運動全国フォーラムが開催され、「小さな親切」運動大賞を受賞しました。県本部が運動大賞を受賞したのは、平成12年に引続き2回目。運動大賞は道府県団体の中で、年間を通じて最も顕著な活動をしたとして贈られるもので、運動の輪を広げ、地域貢献活動を積極的に進めたことが評価されました。



表彰を受ける松浦代表

創立 11 年目

平成19年度は創立10周年記念事業として実施した、「植樹活動」や福祉施設の車いすを修理・再生するエコ活動の「リフレッシュ&リサイクル作戦」など活動の定着化を進めました。

県本部事業

- 平成19年4月 新小学1年生へホイッスル贈呈スタート
「あいさつ運動協力校」実践活動（18・19年度指定12校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、使用済プリペイドカード）
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第11回総会開催
- 6月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
- 7月～8月 紙芝居の贈呈と紙芝居授業開催（私立幼稚園にて）
- 7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
キープ・グリーン運動実施
- 10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
- 11月 第2回理事会・第4回フォーラム開催
- 12月 あいさつカレンダー配布
- 1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
植樹活動実施（5会場）
- 3月 新小学1年生へホイッスル贈呈
- 毎月末土曜日 ラジオによる「小さな親切」運動PR実施（「涙が出るほどいい話」など本の朗読と運動PR放送）
- 4月10日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成19年4月 浜松市・新潟市が政令指定都市
- 5月 祝日の改正、みどりの日（5/4）、昭和の日（4/29）
- 6月 白鵬横綱昇進
- 7月 年金記録漏れ問題発生
- 8月 新潟中越沖地震M6.8発生
74年ぶりに最高気温更新40.9℃（多治見市、熊谷市）熱中症相次ぐ
- 9月 100歳以上3万人を超える
- 10月 郵政民営化・日本郵政グループ発足
南北首脳会談、韓国の盧武鉉大統領と北朝鮮の金正日労働党総書記
「赤福」製造日偽装発覚、「比内地鶏」「名古屋コーチン」偽装発覚
- 11月 山中伸弥京大教授、万能細胞（iPS細胞）作製に成功

平成19年
流行語・新語平成19年の
漢字

鈍感力
消えた年金
2007年問題
KY（空気が読めない）
食品偽装

偽

▶▶ TOPICS

平成19年11月10日東京虎ノ門の日本消防会館で第44回「小さな親切」運動全国フォーラムが開催され、松浦代表が「小さな親切」運動の推進功労者として内閣官房長官賞を受賞しました。



表彰を受ける松浦代表



表彰者記念写真

子どもたちのための紙芝居授業

共感の感性を育むと言われ、コミュニケーションツールとして見直されている紙芝居に着目し、平成16年度から「紙芝居講座」を開始しました。講座は、「優れた演じ手を育て、子どもたちの豊かな心を育むこと」を目的として企画され、紙芝居の理論について実演を含め2時間の内容で開催し3年間継続しました。同時に平成17年度からは、静岡県保育所連合会や県内の公立幼稚園などに紙芝居と紙芝居舞台を寄贈しました。

このノウハウを生かし、平成19年度からは大人を対象とした講座から、「子どもたちのための実践型紙芝居授業」へと変更しました。この事業は、平成24年度まで実施しました。



寄贈した紙芝居と紙芝居舞台



紙芝居授業



静岡新聞 平成19年9月7日掲載

リサイクル&リフレッシュ作戦

平成15年度からスタートした「車いす等贈呈運動」と、平成18年度に創立10周年記念行事として実施した車いすの修理「リサイクル&リフレッシュ作戦」を、平成19年度から合わせて実施することになりました。

施設を利用するお年寄りが必要とする車いすの贈呈と修理をすることで、お年寄りの生活範囲を広げるお手伝いをしています。



静岡新聞 平成20年2月24日掲載



静岡新聞 平成20年2月3日掲載



故障した車いすの診断



車いす贈呈式

創立12年目

新規事業として、静岡県が主催する森を守り育て活かす活動である「森づくり県民大作戦」への参加と、「ベルマークの収集活動」を開始しました。

県本部事業

- 平成20年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（19・20年度指定13校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、使用済プリペイドカード）
ベルマーク収集活動スタート
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第12回総会開催
- 6月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
- 7月～8月 紙芝居による「心の教育プロジェクト」（小学校4校）、紙芝居贈呈
- 7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
キープ・グリーン運動実施
- 10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
- 11月 第2回理事会・第5回フォーラム開催
- 12月 あいさつカレンダー配布
- 1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
里山づくりの活動（植樹と森林整備）スタート（11ヵ所）
- 3月 新小学1年生へホイッスル贈呈
- 毎月末土曜日 ラジオによる「小さな親切」運動PR実施（「涙が出るほどいい話」など本の朗読と運動PR放送）
- 4月10日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成20年4月 後期高齢者医療制度スタート
- 7月 たばこ自販機の成人識別カード「タスポ」稼働
東海北陸道全線開通
北海道洞爺湖サミット（主要国首脳会議）
主要8カ国（G8）
イチロー氏、日米通算3000本安打達成
トルネード投法、野茂英雄氏 現役引退
- 8月 北京五輪開催、女子ソフト念願の「金」
- 9月 米証券4位リーマンブラザーズ経営破綻
- 11月 静岡、山梨両県で「富士山ナンバー」交付開始
- 12月 ノーベル物理学賞受賞（南部陽一郎氏・益川敏英氏・小林誠氏）、ノーベル化学賞受賞（下村脩氏）
- 平成21年1月 オバマ氏、第44代米大統領に就任
- 3月 東京駅発着ブルトレ全廃

平成20年
流行語・新語平成20年の
漢字

埋蔵金
ゲリラ豪雨
後期高齢者
リーマン・ショック
派遣切り

変

▶▶ TOPICS

浜松市の三ヶ日スカイライン道路沿いでは、6月に「コスモス作戦」を実施し草刈りと種まきが行われ、秋には綺麗な花が咲き誇っています。

また、コスモスが咲き終わると菜の花の種を蒔き、春には菜の花畑が広がり、春も秋も皆さまの目を楽しませていきます。



森づくり県民大作戦への参加

平成18年度に創立10周年記念行事として実施した植樹活動を継承し、平成19年度に森林を次世代に残す環境保全活動として県内5会場で植樹活動を実施しました。

さらに平成20年度からは、県環境局自然ふれあい室が企画する「森づくり県民大作戦」に参加し、植樹活動のほか松林内の清掃や竹林伐採などの森林整備を実施し、「里山づくり」として活動の幅を広げました。



静岡新聞 平成21年3月8日掲載



富士山こどもの国でのクロマツの植樹



浜松神久呂地区での竹林整備



吉田公園での河津桜の植樹



賤機山での広葉樹の植樹

こどもの森計画を応援

平成20年度の新規事業としてスタートした「ベルマークの収集活動」は、「やろうとすれば誰でもできることから始められる」という「小さな親切」運動本部初代代表の茅誠司氏の精神を継いでいる活動です。

収集したベルマークは財団法人オイスカへ贈り、換金され、世界の森づくりのための「こどもの森計画」に限定して活用されました。こどもの森計画では、発展途上国の子どもたち自身が森の大切さと緑を愛する心を育み、地球の自然環境を守るための緑化活動として、子どもたちの手で学校の敷地や周辺に植樹し、森づくりに取り組んでいます。



創立13年目

第6回フォーラムの開催やあいさつ運動の推進、ホイッスルの贈呈、クリーン作戦、里山づくり、ベルマークの収集、福祉施設支援など各事業を地道に継続して活動しました。
また、第4回のクリーン作戦では試行的に「SKマネー」を発行し、皆さんの善意を寄付しました。

県本部事業

社会の動き

- 平成21年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（20・21年度指定17校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、使用済プリペイドカード、ベルマーク）
- 4月～6月 第1回クリーン作戦等開催
5月 第1回理事会・第13回総会開催
6月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
- 7月～8月 紙芝居による「心の教育プロジェクト」実施（小学校3校）、紙芝居の贈呈
- 7月～9月 第2回クリーン作戦等開催
- 10月～12月 第3回クリーン作戦等開催
11月 第2回理事会、第6回フォーラム開催
12月 あいさつカレンダー配布
- 1月～3月 第4回クリーン作戦等開催
SKマネー（エコマネー）発行で支援活動スタート（3団体を支援）
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 3月 新小学1年生へホイッスル贈呈
- 第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備活動）、森づくり団体と連携および市町の活動に参加（延28会場）
- 4月10日 県本部だより発行

- 平成21年5月 裁判員制度スタート
森光子氏・森繁久彌氏・遠藤実氏に国民栄誉賞
- 6月 富士山静岡空港開港
米GM経営破綻、国有化へ
太宰治生誕100年
マイケル・ジャクソン氏死去
- 8月 衆院選で民主党勝利、政権交代へ
- 9月 民主・社民・国新連立政権樹立
秋の初5連休（シルバーウィーク）
巨人、7年ぶり日本一（21度目）
- 平成22年1月 ハイチ大地震M7.0発生
2月 バンクーバー冬季五輪開催

平成21年
流行語・新語平成21年の
漢字

Yes.we can.
パンデミック
事業仕分け
脱官僚
政権交代

新

S K マネーの発行

新たな試みとして、第4回クリーン作戦の活動で、これまで活動参加者に配布していた参加記念品に代えて、「SKマネー」を発行しました。SKマネーは、「小さな親切」運動静岡県本部発行券1枚100SK（100円に換算）とし、人と人との温かい心をつなぐ、お金には代えられない善意を交換する紙幣で、エコマネーの一種です。「いのちの電話」「日本盲導犬協会」「あしなが育英会」の中から、参加者が1つを選んで寄付することに限定し、活動終了後集計して各団体に寄付しました。



いのちの電話



日本盲導犬協会

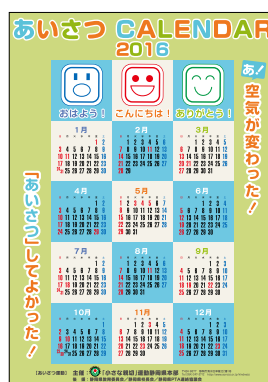
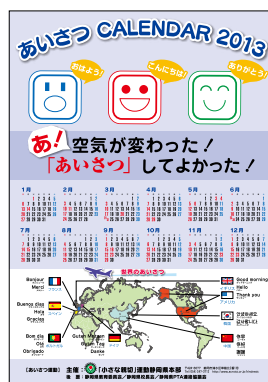
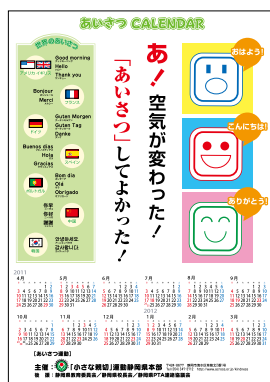
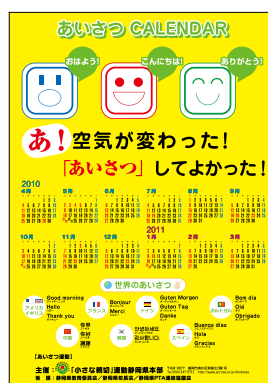
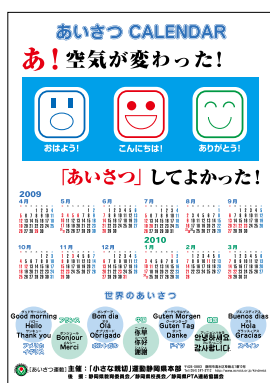
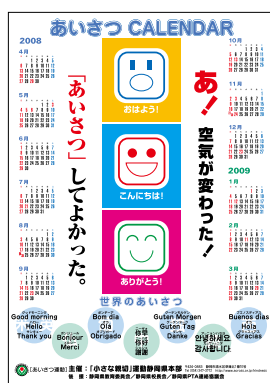


あしなが育英会

あいさつカレンダー

平成18年度からあいさつ運動推進のため、ポスター型の「あいさつカレンダー」を会員や県内の小学校、中学校、高等学校に配布しました。あいさつカレンダーは、あいさつの輪を広げるためのツールとして活用されています。

歴代の あいさつカレンダー



創立14年目

子どもたちを犯罪や災害から守る「防犯・防災用ホイッスル贈呈事業」は、スタートから6年目に入り平成22年度で小学生全員に渡されたことになりました。

また、環境保全活動では「しずおか未来の森サポーター」として静岡県と協定を結び、里山づくりの活動の場を県内各地に広げました。

県本部事業

- 平成22年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（21・22年度指定19校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、使用済プリペイドカード、ベルマーク）
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
5月 第1回理事会・第14回総会開催
6月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
- 7月～8月 紙芝居による「心の教育プロジェクト」実施（小学校3校）、紙芝居贈呈
- 7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
9月 「しずおか未来の森サポーター」静岡県と協定締結
- 10月 間伐に寄与する紙「ふじのくに森の町内会」に参加
- 10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
11月 全国表彰式で作文コンクール第35回記念特別賞受賞
第2回理事会・第7回フォーラム開催
12月 あいさつカレンダー配布
使用済プリペイドカード収集終了
- 1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
SK マネー（エコマネー）の発行で支援活動実施（3団体を支援）
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 3月 新小学1年生へホイッスル贈呈
- 第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携または市町の活動に参加（延35会場）
- 4月10日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成22年4月 米アップル社「iPad」発売
6月 日本総人口1億2,705万人
猛暑で熱中症死者相次ぐ
- 9月 日本振興銀行破綻、初のパイオフ
尖閣列島問題浮上
- 10月 久能山東照宮本殿など3棟が国宝指定
12月 ノーベル化学賞受賞（根岸英一氏・鈴木章氏）
東北新幹線全線開通674.9km
- 平成23年3月 東北地方太平洋沖地震、M9.0世界最大級（東日本大震災）
富士宮市で震度6強
東京電力福島第一原発で国内初の炉心溶融、建屋損壊など相次ぐ
九州新幹線全線開通

平成22年
流行語・新語平成22年の
漢字

ツイッター
AKB48
イクメン
2位じゃダメなんですか

暑

使用済プリペイドカードの収集活動終了

平成17年度から「世界中のお母さんを笑顔にしよう!」を合い言葉に、「心の国際交流事業」として、使用済プリペイドカードの収集活動を実施してきました。しかし、使用済プリペイドカードは買い取り業者が大幅に減少したため、平成22年12月をもって活動を終了しました。

使用済プリペイドカードの収集は、活動開始から6年間で93,019枚が集められました。

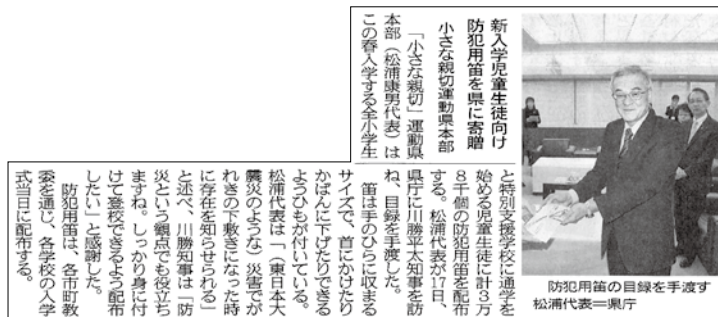


🌱 防犯・防災ホイッスル贈呈事業

平成17年度からスタートした「防犯・防災ホイッスル贈呈事業」は、6年目に入り小学校1年生から6年生までの県内の小学生全員に渡されたことになりました。

ホイッスルは、手のひらに収まるサイズで、首にかけたり、かばんに下げたりできるように紐が付いています。各学校の入学式当日に新入学児童向けに配布され、平成22年度は38,000個配布しました。

この事業は、平成24年までの8年間継続し、296,300個のホイッスルが子どもたちに贈られました。



静岡新聞 平成23年3月18日掲載

🌱 しずおか未来の森サポーター

平成18年度から実施している植樹や森林整備などの「里山づくり」の活動が認められ、平成22年9月27日「しずおか未来の森サポーター」として静岡県と協定を結びました。協定を結んだことから、県環境ふれあい課の主催する「森づくり県民大作戦」の参加団体等と連携して幅広く活動できるようになりました。



静岡新聞 平成22年10月27日掲載



しずおか未来の森サポーター協定締結式



はままつ竹資源活用ネットワークと連携



NPO法人伊東里山クラブと連携

創立15年目

平成23年4月に開催した「第15回総会」にて、県本部代表が松浦康男氏から伊藤誠哉氏に引き継がれました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地と被災者への支援を開始しました。

県本部事業

- 平成23年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（22・23年度指定18校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク）
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
5月 第1回理事会・第15回総会開催
6月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
7月 東日本大震災被災地視察（代表、事務局長）
- 7月～8月 紙芝居による「心の教育プロジェクト」実施（小学校3校）、紙芝居贈呈
7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
11月 第2回理事会・第8回フォーラム開催
12月 あいさつカレンダー配布
1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 2月 創立15周年記念事業、テレビのお天気フィラー
広告で運動をPR
- 3月 東日本大震災被災地支援（SKマネーを全額寄付）
新小学1年生ホイッスル贈呈
- 第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体
と連携で活動または市町の活動に参加（延38会場）
- 4月10日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成23年5月 中部電力浜岡原発が菅直人首相の要請を受けて全面停止
- 6月 小笠原諸島、世界自然遺産に登録
平泉、世界文化遺産に登録
- 7月 電力使用制限令37年ぶり発動
サッカー女子W杯でなでしこJapan、米国を破り世界一。国民栄誉賞受賞
アナログ放送終了
- 10月 静岡・七間町映画街で4施設9館が閉館
リビア、カダフィ政権からの全土解放
- 12月 北朝鮮の金正日総書記が死去

平成23年
流行語・新語平成23年の
漢字

帰宅難民
メルトダウン
がんばろう日本
想定外
なでしこジャパン

絆

TOPICS

平成14年5月から平成23年5月までの9年間県本部代表を務められた松浦康男氏（静岡銀行特別顧問）が退任し、後任の代表に伊藤誠哉氏（静岡銀行副頭取）が就任されました。



伊藤新代表



静岡新聞 平成23年5月13日掲載

東日本大震災被災地・被災者支援

平成23年度は、3月11日に発生した東日本大震災の被災地と被災者への支援に取り組みました。

東日本大震災から4ヶ月経過した7月19日と20日に、伊藤代表と八木事務局長は岩手県遠野市、釜石市、大槌町、大船渡市、陸前高田市の視察を実施しました。遠野市長、釜石市長、釜石商工会議所三役との懇談会や、遠野まごころ寮の視察、静岡県現地支援本部の視察、遠野被災支援ボランティアネットワークの報告会への参加など被災地での生の声に耳を傾け、沿岸部の被災状況を自分たちの目で確認し、「小さな親切」運動として今後の支援方針について検討しました。



大船渡市の瓦礫の山



陸前高田市気仙沼町高田松原



遠野被災支援ボランティアネットワークでの報告会

ベルマークでの支援

身近なことから始められる「わたしたちができること」として、被災した学校や子どもたちを支援するベルマーク教育助成財団の「緊急友愛援助」へ取り組みました。広く支援を呼びかけ、集められたベルマークは、岩手県、宮城県、福島県、茨城県など東日本大震災で被災された学校へ、希望する物品が贈られました。寄贈品はパソコンや掃除機、電子黒板、国語辞典などのほか、キーボードなど楽器やサッカーゴール、とび箱など体育用品も贈られました。



被災地学校支援へ
ベルマークを募集
小さな親切運動本部
また、全国有数の収集
スリカ高に贈呈。同校を通
小の親切運動本部
が被災地支援に貢献す
る仕組み、静岡県清水区
で被災した学校や子ども
たちを支援するベルマ
ーク教育助成財団の「緊急
友愛援助」への努力事業
に取り組んでいる。県本
部は、県内の個人、企業、
団体などから広く支援を
お願いしたいと呼び掛
けている。
事業は、県本部に寄せ
られるベルマークを取り
まとめ、全国有数の収集
スリカ高に贈呈。同校を通
小の親切運動本部
が被災地支援に貢献す
る仕組み、静岡県清水区
で被災した学校や子ども
たちを支援するベルマ
ーク教育助成財団の「緊急
友愛援助」への努力事業
に取り組んでいる。県本
部は、県内の個人、企業、
団体などから広く支援を
お願いしたいと呼び掛
けている。
事業は、県本部に寄せ
られるベルマークを取り
まとめ、全国有数の収集
スリカ高に贈呈。同校を通
小の親切運動本部
が被災地支援に貢献す
る仕組み、静岡県清水区
で被災した学校や子ども
たちを支援するベルマ
ーク教育助成財団の「緊急
友愛援助」への努力事業
に取り組んでいる。県本
部は、県内の個人、企業、
団体などから広く支援を
お願いしたいと呼び掛
けている。



寄せられたベルマークを整理する職員＝静岡市清水区の小さな親切運動県本部事務局



静岡サレジオ中学校生徒会役員の皆さん

静岡新聞 平成23年7月17日掲載

クリーン作戦活動参加による支援

クリーン作戦で、従来参加者に配布していた参加記念品の代わりに善意を交換する「SKマナー」を中止し、参加人数×100円を被災地で懸命に支援活動を行っている、静岡県ボランティア協会へ支援金として1,580,000円を寄付しました。

作文コンクール参加賞による支援

運動本部主催作文コンクールの県内応募者への参加賞は、被災地支援の一環として、岩手県内の授産所で作られたマグネットを贈りました。



創立16年目

東日本大震災支援活動の継続として、被災地にハナモモを植える「花桃植樹活動」と、環境保全活動の一環として「棚田保全活動」を開始しました。
また、全国育樹祭で森づくり功労者の「森を育てるひと」部門で表彰されました。

県本部事業

社会の動き

- 平成24年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（23・24年度指定20校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク）
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第16回総会開催
棚田保全活動スタート（5月田植え、10月稲刈り）
- 7月～8月 作文コンクール・はがきキャンペーン募集
- 7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
紙芝居による「心の教育プロジェクト」実施（小学校3校）（最終回）
被災地岩手県でハナモモ植樹活動実施（7月・9月）、東日本大震災被災地支援団体を支援
- 10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
- 11月 第36回全国育樹祭で静岡県森づくり功労者表彰（知事褒賞）受賞
第2回理事会・第9回フォーラム開催
- 12月 あいさつカレンダー配布
- 1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 3月 新小学1年生へホイッスル贈呈（本年度で終了）
- 第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携で活動または市町の活動に参加（延50会場）
- 4月10日 県本部だより発行（年2回）

- 平成24年4月 新東名高速、御殿場～三ヶ日間162km開通
- 5月 東京スカイツリー開業
- 7月 ロンドン五輪開催
- 10月 吉松育美氏、日本人初のミス・インターナショナル
吉田沙保里氏に国民栄誉賞
- 12月 ノーベル医学生理学賞受賞（山中伸弥氏）
第2次安倍内閣始動
松井秀喜氏が現役引退
- 平成25年1月 東証と大証が経営統合
- 2月 テレビ放送開始60年
大鵬氏に国民栄誉賞

平成24年
流行語・新語平成24年の
漢字

どや顔
だ抜き言葉
LINE

金

▶▶ TOPICS

平成24年11月11日袋井市エコパアリーナで開催された第36回全国育樹祭において、「木を植えて、育てて活かす、緑の力」という大会のテーマのもと、皇太子殿下をお迎えし式典が開催されました。その席上で、県知事より森づくり功労者表彰（知事褒賞）の「森を育てるひと」部門で表彰されました。



花桃植樹活動

浜松市にある「ばらの都苑」より静岡県ボランティア協会へ、被災地のために役に立たせて欲しいとハナモモの苗木の寄付がありました。そこで「被災地にハナモモを植えて、癒しと潤いの持てる郷をつくろう」という企画が立ち上がりました。

この企画では、ハナモモの苗木オーナーを1本2,000円で募集し、2,000円は被災地の植樹先でハナモモを育てていく費用として使われることとなりました。

「小さな親切」運動では、静岡県ボランティア協会と連携し、ハナモモの苗木オーナーとなり、会員企業へ呼びかけ、平成24年の7月にボランティアの宿泊拠点のある岩手県遠野市の遠野運動公園にて、本田遠野市長をはじめ、伊藤代表、神田県ボランティア協会理事長、小川県危機管理監による記念植樹を実施し、2ヶ所で150本を植樹しました。



静岡新聞 平成24年7月15日掲載



遠野市の皆さまと



遠野運動公園での記念植樹

9月には第2回の活動を実施し、400本を鶴住居町など3ヶ所へ植樹し、会員15名が参加しました。

この活動は平成27年まで4年間継続して実施し、6回の活動で会員延べ136人が被災地へ足を運び、ハナモモの苗木を1,650本植樹しました。また、県本部は950本分のハナモモの苗木オーナーになりました。

ハナモモの苗木は仮設住宅や集会所、公園などに植えられました。これまでに植樹したハナモモは植え替えなどを実施し、今では私たちの背丈を越えるものもあり、春には白やピンクの花を咲かせて地元の方々の目を楽しませています。年月を重ね大きく育ったハナモモの並木道で地元の方々の心が少しでも癒されるようにと願っています。



静岡新聞
平成25年7月13日掲載



大槌町吉里吉里ホワイトベース大槌での植樹



平成24年9月に植えたハナモモ



釜石市鶴住居神ノ沢のハナモモ

創立17年目

新規事業として、県本部主催の「作文コンクール」の開催と「書き損じハガキ」の収集活動、「キッズアートプロジェクト」への支援を開始しました。

また、静岡県健康福祉大会にて「静岡県知事表彰（社会福祉功労）」を受賞しました。

県本部事業

社会の動き

平成25年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（24・25年度指定23校）

実行章の推薦推進

収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク）

書き損じハガキの収集スタート

キッズアートプロジェクト支援スタート

4月～6月 第1回グリーン作戦等開催

5月 第1回理事会・第17回総会開催

棚田保全活動（5月田植え、10月稲刈り）

6月 県本部主催、第1回作文コンクールスタート

7月～9月 第2回グリーン作戦等開催

紙芝居による防災授業実施（6校）

被災地岩手県でハナモモ植樹活動実施（7月・9月）、東日本大震災被災地支援団体を支援

10月～12月 第3回グリーン作戦等開催

10月 静岡県健康福祉大会で県知事表彰（社会福祉功労表彰）受賞

11月 第2回理事会・第10回フォーラム開催

12月 視覚特別支援学校3校へ教育用機器寄贈

あいさつカレンダー配布

1月～3月 第4回グリーン作戦等開催

車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施

3月 第1回作文コンクール作品集発刊

第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携で活動または市町の活動に参加（延54会場）

4月10日 県本部だより発行

平成25年4月 新歌舞伎座が開場

5月 長嶋茂雄氏、松井秀喜氏に国民栄誉賞

三浦雄一郎氏、最高齢（80歳）でエベレスト登頂

6月 共通番号制度成立、施行は平成28年1月（マイナンバー）

富士山、世界文化遺産登録

9月 イチロー氏、日米通算4000本安打達成

12月 特定秘密保護法成立

2020年夏季五輪開催地が東京に決定
和食がユネスコ無形文化遺産

平成26年1月 田中将大氏、ヤンキースと契約

2月 ソチ冬季五輪開催

3月 「あべのハルカス」全面開業
「笑っていいとも！」放送終了

平成25年
流行語・新語

平成25年の
漢字

アベノミクス
いつやるの？今でしょう
倍返し
お・も・て・な・し
じえじえじえ

輪

▶▶ TOPICS

平成25年10月22日静岡市グランシップで開催された静岡県健康福祉大会で「静岡県知事表彰（社会福祉功労表彰）」を受賞しました。

これは、平成15年度から毎年県内各地の福祉施設で行っている清掃活動や車いすの贈呈事業などの奉仕活動が評価されたものです。



表彰を受ける伊藤代表

✿ 作文コンクール開催

毎年行われる運動本部主催の作文コンクールには、県内小中学校から4,000編前後の応募がありました。この「心あたたまる」作品を県内の多くの方々に知ってもらうため、また、より多くの子どもたちを称揚するために、平成25年度より県本部主催の作文コンクールへと衣替えしました。

子どもたちが「小さな親切」を題材にして、日常生活の中で親切を受けた喜びや感動、勇気が持てず出来なかった後悔などを「作文」という形で表すことにより、改めて親切の大切さ、素晴らしさを発見する機会とすること。また、次代を担う子どもたちが人間関係の根幹をなす「人には親切に」の心をいつまでも持ち続けてくれることを願って開催しています。



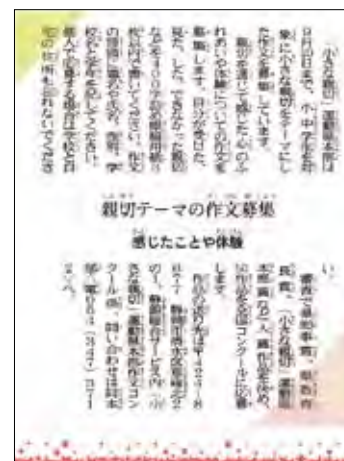
静岡新聞
平成26年3月20日掲載



静岡新聞
平成25年10月30日掲載



静岡県PTA新聞
平成25年12月15日掲載



静岡新聞 平成25年6月23日掲載

✿ キッズアートプロジェクト

キッズアートプロジェクトは、次世代を担う小学生に本物の芸術に触れる機会を提供し、人材育成の一端を担うと同時に地域社会の活性化への貢献を目的として立ち上げられました。

県本部では、この趣旨に賛同し、平成25年度から3年間にわたり支援を実施しました。

キッズアートプロジェクトでは、県内の美術館や博物館40館の無料パスポートを小学生に配布し、保護者も含め多くの方々が入館しました。

また、キッズアートプロジェクトと連携し、「小さな親切」運動フォーラムに参加する子どもたちに美術館等の見学コースをセットすることで、芸術に触れる機会を提供し子どもたちの「感性豊かな心」が育まれるよう支援しました。

広報活動の充実を図るために、SBSラジオ放送にて「作文コンクール入賞作品の朗読」と「小さな親切」運動のPRを開始しました。

また、東日本大震災被災地、被災者の支援活動に加えて、静岡いのちの電話など「県民のために活動している非営利団体」への支援を復活しました。

県本部事業

- 平成26年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（25・26年度指定23校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク、書き損じハガキ）
キッズアートプロジェクト支援実施
- 4月～6月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第18回総会開催
棚田保全活動（5月田植え、10月稲刈り）
- 5月～9月 SBSラジオ放送スタート（第1回作文コンクール入賞者の朗読と運動のPR）
- 6月 県本部主催、第2回作文コンクール募集
- 7月～9月 第2回グリーン作戦等開催
- 7月 被災地岩手県でハナモモ植樹活動実施、東日本大震災被災地支援と県内で活動する非営利団体を支援
- 8月 静岡県犯罪被害者支援センターへ軽自動車1台寄贈
- 10月～12月 第3回グリーン作戦等開催
- 11月 第2回理事会・第11回フォーラム開催
- 12月 あいさつカレンダー配布
- 1月～3月 第4回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 3月 第2回作文コンクール作品集発刊
- 第1.3.4回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携で活動または市町の活動に参加（延55会場）
- 4月10日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成26年4月 消費税5%から8%へ引き上げ
東北三陸鉄道3年ぶり完全復旧
- 6月 世界文化遺産に「富岡製糸場」
- 7月 集団的自衛権行使容認、閣議決定
大井川鉄道で蒸気機関車「きかんしゃトーマス」運転開始
- 8月 国内でデング熱感染を確認
- 9月 宮内庁、「昭和天皇実録」を公表（編纂に24年5ヶ月）
御嶽山噴火
- 12月 ノーベル物理学賞受賞（赤崎勇氏
天野浩氏・中村修二氏）
- 平成27年3月 北陸新幹線開業

平成26年
流行語・新語平成26年の
漢字

レジェンド
壁ドン
ありのままで～
集団的自衛権

税

TOPICS

平成26年8月25日NPO法人静岡犯罪被害者支援センターに「軽自動車1台」を寄贈しました。これは、松浦康男氏（前代表）から寄せられた寄付金で実現したものです。

センターでは、ある日突然、犯罪や交通事故に巻き込まれ、これまでの平穏な生活が一瞬にして奪われてしまった被害者やそのご家族、ご遺族を支援するため、さまざまな悩みや法律に関するご相談に応じ、警察や裁判所などに支援員が付き添うなどの活動を行っています。こうした活動にレンタカーを使用しているため、少しでもお役に立てればと軽自動車を寄贈することになりました。



伊藤代表から白井センター長へ贈呈

🌱 ラジオ放送スタート

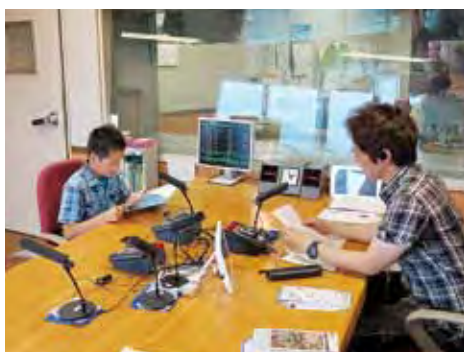
県本部では、「小さな親切」運動を県内に広めるため、広報活動の充実に努めています。新たな取り組みとして、平成26年5月31日から、9月27日の毎週土曜日9時台、SBSラジオ「山田辰美の土曜はごきげん」の中に、「あのときの親切、ありがとうの笑顔」という県本部のコーナーを設けました。

このコーナーでは、平成25年度にスタートした第1回「小さな親切」作文コンクール入賞作品の朗読と、県本部の活動紹介を行いました。作文コンクール入賞者本人による朗読を収録し、放送日は電話による本人や家族のインタビューの様子を生放送しました。また、県本部の様々な事業の紹介のほか、クリーン作戦や里山づくりの活動など今後の予定もお知らせしました。

この活動は、心あたたまる作文を紹介し、「子どもたちの素直な思い」を皆さまにお届けするとともに、多くの方々に「小さな親切」運動を知っていただき、県内隅々に広めるきっかけになることを願い実施しています。



ラジオ収録



🌱 支援活動

平成26年度は、東日本大震災の被災地、被災者支援活動に比重を置きながら、一部原点に立ち返り、「県民のために活動している団体（営利事業を行っていない法人、団体や個人）」への支援を実施しました。「日本盲導犬協会」への寄付もその一つです。

平成27年2月6日静岡県富士宮市の日本盲導犬総合センター「盲導犬の里富士ハーネス」にて、寄付金の贈呈式を行いました。

盲導犬の里富士ハーネスは、全国で唯一見学が出来るセンターです。盲導犬の出産から引退後までの一生をトータルケアすることにより、安定的な盲導犬の育成頭数を確保することができ、慢性的な盲導犬不足を解消し待機者0を目指すためのシステムを構築、繁殖犬が安心して出産できる繁殖センターの機能を有しています。総合センターの財源の90%は寄付や募金でまかなわれています。

1人でも多くの目の不自由な方々が、盲導犬と一緒に新たな一歩を踏み出す手助けになればと願って寄付をしました。



佐野理事から山口センター長へ贈呈

創立19年目

平成27年5月に開催した「第19回総会」にて、県本部代表が伊藤誠哉氏から、後藤正博氏に引き継がれました。

新規事業として、図書啓発ガイドブック「本とともにだち」の幼児版リーフレット作成の支援を開始しました。

県本部事業

- 平成27年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（26・27年度指定19校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク、書き損じハガキ）
キッズアートプロジェクト支援実施
- 4月～7月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第19回総会開催
棚田保全活動（5月田植え、10月稲刈り）
- 5月～9月 SBSラジオ放送（第2回作文コンクール入賞者の朗読と運動のPR）
- 6月 県本部主催、第3回作文コンクール募集
- 7月 被災地岩手県でハナモモ植樹活動実施、東日本大震災被災地支援と県内で活動する非営利団体支援
- 10月～12月 第2回グリーン作戦等開催
- 10月 ホームページの内容リニューアル
- 11月 第2回理事会・第12回フォーラム開催
- 12月 あいさつカレンダー配布
読書啓発リーフレット広告掲載（幼児版12月、中学生版3月）
- 1月～3月 第3回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 3月 第3回作文コンクール作品集発刊
- 第1.2.3回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携で活動または市町の活動に参加（延57会場）
- 4月9日 県本部だより発行

社会の動き

- 平成27年4月 マイナンバー制度制定（10月施行）
- 5月 安保法成立
- 6月 18歳選挙権成立、平成28年参院選から
- 7月 7月1日午前8時59分60秒（うるう秒）
ブラウン管TV生産終了
- 9月 日本郵政、ゆうちょ、かんぽ株式上場
- 10月 ノーベル生理学・医学賞受賞（大村智氏）、ノーベル物理学賞受賞（梶田隆章氏）
- 11月 国産ジェット機MRJ初飛行
- 12月 日本一長い吊り橋「三島スカイウォーク」完成
- 平成28年1月 日銀 マイナス金利政策
- 3月 北海道新幹線（新青森～新函館有斗）開業

平成27年
流行語・新語平成27年の
漢字マイナンバー
爆弾低気圧
爆買い
ドローン

安

TOPICS

平成23年5月から平成27年5月までの4年間、県本部代表を務められた伊藤誠哉氏（静岡コンピューターサービス株式会社代表取締役会長兼社長）が退任し、後任の代表に後藤正博氏（静岡銀行副頭取）が就任されました。



後藤新代表

静岡新聞
平成27年5月13日掲載

🌱 本ともだち

静岡県教育委員会では、静岡県が取り組む読書推進事業の一環として、児童が本に親しむきっかけ作りになることを目的に、読書啓発ガイドブック「本ともだち」を作成しています。このガイドブックは、これまで赤ちゃん版、小学生版、中学生版がありましたが、新たに「幼児版リーフレット」を作成することとなり作成費を支援するため、「中学生版ガイドブック」と「幼児版リーフレット」の裏表紙に「小さな親切」運動の広告を掲載しPRをしました。



🌱 ホームページリニューアル

平成27年度は、ホームページをリニューアルし、事業ごと見やすく皆さまが情報を得やすくなるように工夫しました。クリーン作戦のご案内、作文コンクールの募集や入賞作品の紹介などもタイムリーに掲載しました。

平成28年度には、県主催の森づくり県民大作戦に参加しているNPOなど連携団体の活動をホームページで紹介することを企画し連携先の協力を得て、掲載しました。活動への思いや活動の内容、今後の展開なども紹介しています。森づくりにたずさわる皆さま同士がこのホームページをとおしてつながることができればと願っています。

これからも、わかりやすく、見やすいホームページを目指してまいります。

ホームページは
こちら



小さな親切 静岡

検索



創立20年目

創立20周年記念行事を企画し、通常の事業と並行して様々な行事を実施しました。

県本部事業

- 平成28年4月 「あいさつ運動協力校」実践活動（27・28年度指定14校）
実行章の推薦推進
収集活動の推進（使用済切手、ベルマーク、書き損じハガキ）
- 4月～7月 第1回グリーン作戦等開催
- 5月 第1回理事会・第20回総会開催
棚田保全活動（5月田植え、10月稲刈り）
- 5月～9月 SBSラジオ放送（第3回作文コンクール入賞者の朗読と運動のPR）
- 6月 県本部主催、第4回作文コンクール募集
熊本地震被災地支援で40万円寄付
- 9月～10月 会員へ創立20周年お礼訪問実施
静岡県本部より発行
- 10月～12月 創立20周年記念グリーン作戦開催（参加者へ20周年記念粗品配布）
- 11月 創立20周年記念フォーラム開催（アルピニストの野口健氏による記念講演実施）
運動本部全国表彰式で最高賞の「Best Kindness Award」受賞
- 12月 NHKラジオで第4回作文コンクール上位入賞作品6編をアナウンサーが朗読
創立20周年記念カレンダー配布
読書啓発リーフレット広告掲載（幼児版、小学生版、中学生版）
- 1月～3月 第3回グリーン作戦等開催
車いす等贈呈、車いす修理、福祉施設奉仕活動実施
- 2月 創立20周年記念感謝状贈呈30先
創立20周年記念特別支援を実施（聴覚特別支援学校3校へ教育用機器寄贈）
創立20周年広告掲載（20日）
- 3月 第4回作文コンクール作品集発刊
創立20周年記念誌発行
- 第1.2.3回活動 里山づくりの活動（植樹と森林整備）森づくり団体と連携で活動または市町の活動に参加（延50会場）

社会の動き

- 平成28年4月 電力小売り自由化開始
熊本地震発生
- 6月 原子番号113番、ニホニウム（Nh）と命名
選挙権18歳以上に改正
英国、国民投票で「EU離脱派勝利」
- 7月 ポケモンGO配信開始
リオデジャネイロ五輪開催
- 8月 広島東洋カープ25年ぶりセ・リーグ優勝
- 9月 築地市場、豊洲移転問題発覚
- 10月 ノーベル生理学・医学賞受賞（大隅良典氏）
ボブ・ディラン氏、ノーベル文学賞
伊調馨氏に国民栄誉賞
- 12月 SMA P解散
- 平成29年1月 トランプ氏、米大統領に就任

平成28年
流行語・新語

ポケモンGO
盛り土
マイナス金利
PPAP

平成28年の
漢字

金

▶▶ TOPICS

平成28年11月26日東京霞が関ビルで開催された、「小さな親切」運動全国表彰式にて「Best Kindness Award」を受賞しました。この賞は、過去2回受賞している運動大賞を上回る最高賞として新設された賞で、20年にわたる熱心な活動を称えられました。



表彰者記念写真

創立20周年記念「フォーラム」開催

平成28年11月22日静岡市しずぎんホールユーフォニアにて、創立20周年記念「フォーラム」を開催しました。当日は、川勝平太静岡県知事、公益社団法人「小さな親切」運動本部の鈴木恒夫代表をお迎えし、さらには各界より多くの来賓の方々にご臨席をいただいて盛大に開催することができました。

今回のフォーラムでは、会員の皆さまに20周年の感謝の気持ちを込めて、広く声を掛け多くの皆さまにご参加いただきました。

第1部の表彰式では、長年積極的かつ熱心に「小さな親切」運動の活動に取り組まれている企業3社に創立20周年記念感謝状を贈ったほか、「小さな親切」を行った方に贈る実行章の贈呈、あいさつ運動協力校への感謝状の贈呈、作文コンクール入賞者の表彰式を行いました。表彰式後には、作文コンクール県知事賞を受賞した小学生と中学生2名による作文朗読を実施しました。

また、第2部では創立20周年記念行事の一環として、ボランティア活動にも積極的に取り組まれているアルピニストの野口健氏による「生きる」と題した記念講演会を開催しました。



後藤代表による開会のあいさつ



川勝県知事による来賓あいさつ



鈴木運動本部代表による来賓あいさつ



「小さな親切」実行章贈呈



あいさつ運動協力校感謝状贈呈



神原副代表による閉会のあいさつ



野口健氏による講演



静岡新聞 平成28年11月23日掲載



創立20周年記念感謝状贈呈

創立20周年にあたり、継続的かつ熱心に「小さな親切」運動の活動に取り組まれている、企業や団体、学校、個人の方々を各支部からご推薦いただき、事務局推薦と合わせ30先の皆さまに「創立20周年感謝状」を贈呈させていただきました。11月に行われた創立20周年記念「フォーラム」では、東部、中部、西部地区を代表し、3社に「創立20周年感謝状」を贈呈しました。



三島市
「株式会社ミツイシ 様」

長年に亘り「小さな親切」運動の広報活動を積極的に行われ、「小さな親切」運動を広めるためご尽力いただいております。
また企業活動として、ゴミ出しマナー向上の啓発活動を行い、三島市内の緑化推進活動に貢献されています。



島田市
「株式会社鈴木化学工業所 様」

長年に亘りクリーン作戦の活動に、積極的にご参加いただいております。
また企業活動として、会社周辺の大井川の土手の清掃や草刈りなどを定期的に行うなど地域における環境美化活動に貢献されています。



浜松市
「金田工業株式会社 様」

長年に亘りベルマークの収集活動に全社を挙げて取り組まれ、「小さな親切」運動における途上国支援活動に多大な貢献をいただいております。
また企業活動として、毎週水曜日には社員の方々が地元高丘町地区の安全パトロールを行ない、地域安全活動に取り組まれています。



創立20周年記念新聞広告

おかげさまで20周年

皆さまの思いやりの心に支えられ、
「小さな親切」運動静岡県本部は
創立20周年を迎えました。

“できる親切はみんなでしょうそれが社会の習慣となるように”をスローガンに、
心のかよわたかな社会づくりを目指して活動しています。

「小さな親切」実行委員とは
私たちが皆さまのまわりの「親切」
さんに感謝の気持ちを込めて「小さな親切」
実行委員会を組織してご支援

「小さな親切」実行委員の
推薦から受章まで
Step1 親切さんを見つける
↓
Step2 推薦状を書く
↓
Step3 受章の決定と発表
↓
Step4 感謝を込めて贈呈

皆さまのまわりにいる「親切さん」を、ぜひ「小さな親切」運動静岡県本部にご紹介ください。
詳しくはホームページをご覧ください。
【小さな親切】静岡県本部 15号 静岡市清水区藤原2-2番1号 ☎054-347-3712

小さな親切 静岡 検索

静岡新聞 平成29年2月20日掲載（創立記念日当日）



創立20周年記念品

20周年の感謝の気持ちを込めて、
会員の皆さまに配布しました。





創立20周年記念活動の実施

年間3回実施しているクリーン作戦や里山づくりの活動のうち、9月から11月に実施する第2回の活動を「創立20周年記念活動」として実施し、各地区で広く参加を呼びかけ、多くの会員の皆さまに参加いただきました。

主な活動として、東部地区では森づくり団体と連携で主催した「千本松原の森林整備活動」へ235人、中部地区では国土交通省静岡河川事務所主催の「安倍川流木クリーンまつり」へ559人、西部地区では国土交通省浜松河川国道事務所主催の「天竜川クリーン作戦」へ204人の参加がありました。このほか県内84箇所で行われた各地区の活動にも、多くの皆さまに積極的に参加いただきました。

清水区「小さな親切」運動で海岸清掃
「小さな親切」運動県本部は12日、創立20周年記念活動の一環として、静岡市清水区の三保海岸で清掃活動を行った＝写真＝。

県中部の会員企業の社員や家族ら約300人が集まり、三保松原の「羽衣の松」周辺でゴミを拾った。参加者は袋を手に海岸をくまなく歩き、漂着したプラスチックゴミや廃棄物などを集めた。

同運動県本部は1997年創立。清掃活動「クリーン作戦」は、毎年県内約240カ所で行っている。



静岡新聞 平成28年11月15日掲載

富士 緑地公園でクリーン作戦
「小さな親切」運動県本部富士地区支部は10日、富士市の富士川緑地公園でクリーン作戦を実施した＝写真＝。

県本部の創立20周年を記念した活動。市内の12事業所から約300人が参加した。公園内を巡回し、植え込みや通路脇に捨てられていたペットボトルやたばこの吸い殻、空き缶などを約1時間にわたって回収した。



静岡新聞 平成28年12月11日掲載



H28.11.20 安倍川流木クリーンまつり



H28.10.23 天竜川クリーン作戦



H28.11.5 千本松原の森林整備活動



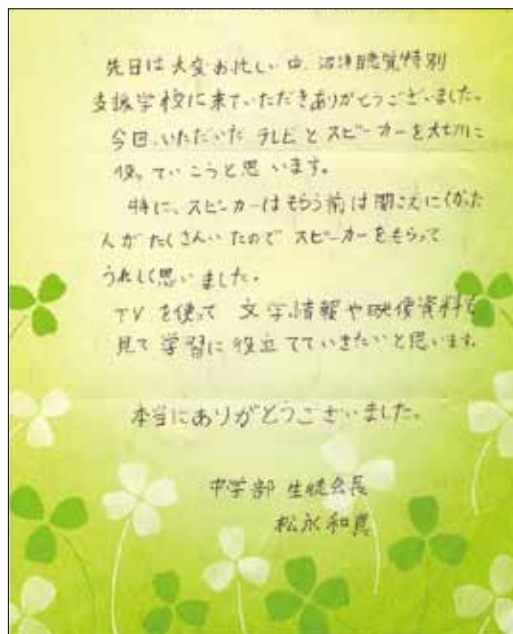
創立20周年記念「特別支援」の実施

平成29年2月24日創立20周年記念「特別支援」として、沼津、静岡、浜松の県立聴覚特別支援学校3校に学習用品の50型液晶テレビやワイヤレスアンプ、補聴器援助システムなど100万円相当を寄贈しました。

当日は後藤代表が沼津聴覚特別支援学校（奥脇正則校長）を訪ね、児童生徒、先生、職員約30人に迎えられる贈呈式が行われ、後藤代表から寄贈品3校分の目録を中学部生徒会長の松永和真さんに手渡しました。奥脇校長は「視覚的情報を利用できる液晶テレビなど、学習に役立つ寄贈品をいただき有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べられました。



静岡新聞 平成29年3月2日掲載



お礼のお手紙

創立20周年記念カレンダーの作成

創立20周年記念行事の一環として、毎年作成しているあいさつポスターカレンダーに代えて、「創立20周年記念カレンダー」を作成し会員や県内すべての学校へ配布しました。カレンダーは、2ヶ月ごとに構成し各事業の紹介を記載してあります。

また、最後のページは小中学校で人気のある「はきものをそろえる」のポスターを用意しました。





「小さな親切」運動静岡県本部

主な活動紹介

「小さな親切」実行章	34
あいさつ運動	35
作文コンクール	36
クリーン作戦	37
福祉施設支援事業	38
里山づくり	39
棚田保全活動	40
収集活動	41

役員名簿	42
------	----

実行章の推薦	44
--------	----

「小さな親切」実行章



「小さな親切」実行章は、私たちの身近にいる「親切さん」に感謝し、表彰する活動です。これは、「小さな親切」運動発足の昭和38年以来続けている運動の中心となる大切な事業の一つです。個人でも、団体でもかまいません、清掃活動や花壇整備など「小さな親切」を行なった方を推薦していただき、その行為に敬意を表し、実行章（賞状とバッジ）を贈呈して表彰するものです。日常生活の中で、さりげなく行なわれている「心あたたまる」行いを表彰しています。どなたでも推薦でき、だれでも受章できますので、「庶民賞」とも言われ親しまれています。「小さな親切」運動では、そんな皆さんにありがたい感謝の気持ちを伝える「実行章」を贈ることで、地域社会に「思いやりの心」を広めています。

静岡県本部での実行章の贈呈数は、平成9年2月から平成29年3月までに、団体1,253先、個人3,024人になります。実行章の推薦につきましては、本記念誌のP44をご確認ください。皆さんのまわりにいる「親切さん」を是非事務局に教えてください。



静岡新聞 平成27年7月18日



静岡新聞 平成28年11月18日掲載



静岡新聞 平成27年7月23日掲載

実行章受賞の皆さん(贈呈式)



あいさつ運動



平成10年度に県本部独自で作成した「あいさつ運動ポスター」を会員や小学校、中学校へ配布しました。

平成12年度からは、あいさつ運動協力校を指定し啓発品などの支援を始めました。当時は、東部、中部、西部の各地区で小学校と中学校を1校ずつ指定し活動していましたが、「中学校区全体であいさつ運動を取り組むことで、地域が一体となる活動ができる」というご意見から、平成16年度より現在の1中学校区ずつ2年間「あいさつ運動協力校」を指定し、横断幕やのぼり旗などの啓発品を寄贈して、「学校のあいさつ運動」を応援するというスタイルになりました。

各中学校区で小学校と中学校が一丸となって、明るいあいさつが飛び交う学校と、そこから生まれるコミュニケーション豊かな、地域づくりをめざし活動しています。

平成12年度から平成28年度まで合計131校をあいさつ運動協力校に指定し、応援してきました。

あいさつ運動のようす



静岡新聞 平成28年4月14日掲載



28年度指定校がデザインした横断幕を寄贈

東部

「あいさつ運動」協力校 期間 平成28年4月～平成30年3月

あいさつで 笑顔がたくさん 咲かせよう

富士市立富士川第一中学校・富士川第一小学校

主催「小さな親切」運動静岡県本部
後援 静岡県教育委員会・静岡県校長会・静岡県PTA連絡協議会



中部

「あいさつ運動」協力校 期間 平成28年4月～平成30年3月

毎日のあいさつが 人と人をつ笑顔で結ぶ

焼津市立和田中学校 和田小学校

主催「小さな親切」運動静岡県本部
後援 静岡県教育委員会・静岡県校長会・静岡県PTA連絡協議会



西部

「あいさつ運動」協力校 期間 平成28年4月～平成30年3月

広げよう あいさつ 笑顔 地域の輪

浜松市立 水窪中学校 水窪小学校

主催「小さな親切」運動静岡県本部
後援 静岡県教育委員会・静岡県校長会・静岡県PTA連絡協議会



作文コンクール

平成25年度から県本部主催の「小さな親切」作文コンクールを開催しています。

毎年5月に募集要項を発表。テーマは運動本部主催の全国作文コンクールのテーマと同じで『「小さな親切」私のした、うけた、みた、できなかった親切』などです。コンクールでは親切に関する素直な気持ちや体験についての作文を県内の小学生、中学生を対象に募集し、9月下旬に締め切ります。応募作品の中から、第1次審査の結果、入選50編うち入賞18編が決定します。その後、最終審査を経て県知事賞など各賞を決定し11月に行なわれる「小さな親切」運動「フォーラム」の席上にて、入賞者表彰式及び上位入賞者による作文朗読を実施しています。

なお、入選50編は公益社団法人「小さな親切」運動本部が主催する全国作文コンクールに推薦応募する二段構となっています。

また、3月には入選50編を収録した作品集を発刊し、県内の小学校や中学校、図書館などに配布しています。

第1回目から第4回目までの、4年間での応募校数は延べ732校、24,782編になりました。

川田君、大橋さん 県知事賞
「小さな親切」運動 22日に表彰

県本部の第4回作文コンクール「小さな親切」運動の入賞者が、このほど発表された。県知事賞には、川田君、大橋さんが選ばれた。

川田君は、静岡市立小学校の5年生。作品は「小さな親切」運動の経験について書いた。大橋さんは、静岡市立中学校の2年生。作品は「小さな親切」運動の経験について書いた。

表彰式は、11月22日（土）午後2時、静岡市立小学校で行われた。県知事、県教育委員会、県運動本部、県本部、市町村関係者、入賞者、保護者、教職員、関係者など約100人が参加した。

川田君は、静岡市立小学校の5年生。作品は「小さな親切」運動の経験について書いた。大橋さんは、静岡市立中学校の2年生。作品は「小さな親切」運動の経験について書いた。

静岡新聞 平成28年11月11日掲載



入賞者表彰式



平成28年度募集ポスター



入賞者記念写真



平成28年度作品集

クリーン作戦



平成9年の創立以来、会員や地域の皆さまとともに、県内各地でクリーン作戦を実施しています。国県市町が主催する、河川や海岸を中心とした大型のクリーン作戦や、地元の商店街や公園、駅周辺の清掃を行なう地域密着型のクリーン作戦など、清掃箇所は様々です。

毎年8月には「富士山をいつまでも美しくする会」主催の富士山一斉清掃にも参加しています。平成9年度から平成28年度までの活動は、延べ4,414会場で457,066人の参加がありました。



静岡新聞 平成24年9月9日掲載



静岡新聞 平成21年9月6日掲載



静岡新聞 平成26年9月7日掲載



静岡市清水区 (H28.5.28) 三保海岸



富士市 (H28.10.15) 米之宮公園周辺



島田市 (H28.10.15) J R島田駅周辺



磐田市 (H28.11.5) 今之浦公園周辺



浜松市雄踏 (H28.11.26) 舞浜町海岸



静岡市葵区 (H29.1.28) 熊野神社

福祉施設支援事業



平成15年度からスタートした「車いす等贈呈運動」と、平成18年度に創立10周年記念行事として実施した「車いすのリサイクル&リフレッシュ作戦」を、平成19年度から合わせて実施しています。

現在では、クリーン作戦の一環として、「福祉施設の奉仕活動」を行い、並行して「車いす等の贈呈」も行なっています。贈呈品は車いすのほか、施設の利用者はもちろん、介護する方々にとって必要となるものを贈呈しています。奉仕活動先では、施設や車いすの清掃をはじめ、施設利用者とお話を楽しむなどコミュニケーションが図れるように活動しています。活動が終わると、施設の皆さんも、活動に参加した方々も笑顔になっています。

平成15年度から平成28年度まで延べ406会場、8,903人の参加がありました。また、車いすの寄贈は300台となりました。

葵区 高齢者施設で奉仕活動

「小さな親切」運動県本部は13日、静岡市葵区の楽寿の園高齢者総合福祉エリアで奉仕活動を実施した。協力企業の従業員47人が清掃活動に精を出した＝写真＝。



参加者は1時間ほど、花壇の草取り、窓拭き、車椅子磨きなどに取り組んだ。屋外の広場のテーブルや椅子は、水を使いブラシでこすって磨き上げた。

奉仕活動に合わせ、車椅子1台を寄贈した。運営する楽寿会の有馬良建理事長は「施設がきれいで明るくなった。毎年来ていただき、本当にありがたい」と話した。

静岡新聞 平成28年2月16日掲載

長泉 「小さな親切」車椅子を贈る

「小さな親切」運動県本部（後藤正博代表）はこのほど、長泉町の特別養護老人ホーム「さつき園」に車椅子2台を寄贈した。

県本部長泉支部長を務める静岡銀行長泉支店の有田正己支店長が訪れ、同ホームの杉山弘昭



理事長に目録を手渡した。杉山理事長は「大切に使用させていただきます」と謝辞を述べた。同本部の会員約30人も訪れ、窓ふきや車椅子の清掃活動を行った。

杉山理事長（右）に目録を手渡す有田支店長＝長泉町の特別養護老人ホーム「さつき園」

静岡新聞 平成28年2月17日掲載



浜松市雄踏 (H28.12.17)
浜名湖園デイサービスセンター



掛川市 (H29.1.21)
特別養護老人ホーム大東苑



浜松市入野 (H29.1.21)
三幸の園



磐田市豊田 (H29.1.14)
豊田えいせい病院



浜松市葵町 (H29.1.28)
グリーンヒルズ東山



磐田市竜洋 (H29.1.28)
特別養護老人ホーム白寿園

里山づくり



平成18年度からスタートした「植樹活動」は、平成22年度に「しずおか未来の森サポーター」となり、森林整備の活動を加え「里山づくり」として次世代を担う子どもたちに豊かな森林と里山を残すため環境保全に取り組んでいます。さらには、静岡県主催の「森づくり県民大戦」に参加する団体と連携し、県内各地で植樹や下草刈り、竹の伐採などを行っています。

また、大津波に備えた沿岸部での防災林強化や、防潮堤の植樹活動にも参加しています。大変な作業も沢山ありますが、植樹した木の苗が、すくすく育っていくのがとても楽しみです。

平成18年度から平成28年度までに、延べ258会場で8,618人の参加がありました。

写真 千本松原で清掃や草取り
「小さな親切」運動県本部と県はこのほど、「森づくり県民大戦」を沼津市の千本松原で展開した。

千本松原の環境などを保護する地元自治会の六軒町自治会、地元住民有志でつくる「チーム



絆の森いっしょまつ」、ボランティア団体「森と竹で健康クラブ」の3団体と、「小さな親切」運動会員の計約300人が参加した。3カ所に分かれて、清掃や草取りに取り組んだ。

同市一本松近くでは、軍手を着けた参加者が松林を歩き、下草に隠れた枯れ枝などを丁寧に集めた＝写真＝。大きな枝は協力してチェーンソーで切り落とすなど、千本松原の美化向上に努めた。

静岡新聞 平成27年11月12日掲載



県民大戦 会員や留学生ら陸機
山で植樹活動
静岡市東区の市民団体「陸機
山に花の咲く里を育てる会」は、
同運動に
参加する静岡銀行城西、三ヶ日両支店の行員15人と、里山
保全に取り組む「裾野フロンティア倶楽部」の
10人が協力。不動谷の森には樹田や手作りの遊
具などがあり、小学生らが自然体験で訪れやす
いよう、細い坂道に階段を設けた＝写真＝。
チェーンソーで間伐した木を長さ1.2mに切
り、ボルトで固定。女性参加者は付近の下草刈
りなどを行い、里山の保全に努めた。

静岡新聞 平成27年4月21日掲載

写真 里山づくりで間伐材の階段設置

青少年育成や環境保全などに取り組む「小



同運動に
参加する静岡銀行城西、三ヶ日両支店の行員15人と、里山
保全に取り組む「裾野フロンティア倶楽部」の
10人が協力。不動谷の森には樹田や手作りの遊
具などがあり、小学生らが自然体験で訪れやす
いよう、細い坂道に階段を設けた＝写真＝。
チェーンソーで間伐した木を長さ1.2mに切
り、ボルトで固定。女性参加者は付近の下草刈
りなどを行い、里山の保全に努めた。

静岡新聞 平成28年2月14日掲載



掛川市 (H28.10.15)
NPO法人時ノ寿の森クラブと連携
掛川市菖蒲ヶ池・下草刈り



伊東市 (H28.10.16)
宇佐美フォレスト協議会と連携
伊東市宇佐美大丸山山頂付近・植樹



袋井市 (H28.10.16)
袋井市役所農政課農業振興係主催
浅羽海岸松林植樹地・松林下草刈り



沼津市 (H28.11.5)
環境整備「森と竹で健康クラブ」と連携
沼津市千本悠久の森・枯枝拾い他



静岡市清水区 (H28.11.20)
竹林再生プロジェクト大内と連携
静岡市清水区大内・植樹



吉田町 (H28.12.10)
NPO法人しずかちゃん主催
吉田公園・チューリップ球根植え付け

棚田保全活動



平成24年度から、「日本の豊かな自然と景色を子どもたちに残したい」と活動続ける地元の方々の思いに応えて、棚田保全活動に参加しています。「松崎町石部地区」と「菊川市上倉沢地区」の棚田オーナーとして地元の方々とつながりを大切に、イモリやメダカが棲みホタルが舞う棚田を守ることで、自然の大切さを子どもたちに伝えるため活動しています。5月に田植え、10月に稲刈りを実施。うるち米やもち米などの収穫物は、子どもたちのために児童福祉施設などへ贈呈しています。



松崎町石部地区



菊川市上倉沢地区



収集活動



平成17年度から使用済み切手、平成20年度からベルマーク、平成25年度から書き損じハガキの収集活動を行っています。使用済み切手は、公益財団法人ジョイセフに送り、途上国の女性や子どもたちの暮らしをサポートしています。ベルマークは、オイスカ高校の協力を得て、東日本大震災の「被災校支援」と、途上国の植樹活動「こどもの森計画」に活用しています。書き損じハガキは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ送り、途上国の学校建設や図書館運営事業などに活用されています。

使用済み切手などの収集物は年間を通していつでも受け付けしておりますので、皆さまのご協力をお願いします。

各収集物は、収集開始から平成28年度までに使用済み切手は延べ1,533Kg、ベルマークは3,551,890点、書き損じハガキは27,450枚集めることができました。

収集活動をしている 皆さまのご紹介



稲生沢保育園

「先生持ってきたよ!!」と小さな手に握りしめられた使用済み切手など。お家で一生懸命集めてくれた物です。それに込められた気持ちを大切に受け取り、皆の小さな気持ちが集まり、大きな事に繋がるように祈りながら運動を進めています。



磐田市立田原小学校

「幸せフラワー委員会」は、学校の花壇の花の世話と、使用済み切手やベルマークなどの回収を1年を通して行っています。学校中が花と思いやりでいっぱいになるようにと、子供たちは活動をしています。



春日製紙工業株式会社

弊社は再生紙を製造しており、紙資源として郵便物のリサイクルも行っております。毎日数十通の郵便物が届き、リサイクルする際に使用済み切手も分別するように心掛けています。これからも一人ひとりの「小さな親切」がこの活動を支える大きな力になることを願っています。



湖西市立新居中学校

自分たちの身近にある使用済み切手やベルマークなどが、世界中の困っている人や地域の援助になると知り、収集活動を始めました。一人一人の小さな親切が、多くの人の幸せにつながればと思っています。



静岡銀行 清水支店

多くのお客様が、収集物を窓口にお持ちくださります。先日も、新聞をご覧になったお客様が、長年収集してきた沢山の使用済み切手を「社会に役立てて下さい」と窓口にお持ちくださいました。これからも、自分たちで収集しながら、お客様にも広く呼びかけていきたいと思っています。



東海美装興業株式会社

切手にもさまざまな形やデザインがあり、楽しみながら収集しています。収集した使用済み切手が途上国に住む人たちの生活のサポートや医療に役立てられていると知り、これからも少しでも貢献していけるように続けていきたいと思っています。



東京海上日動火災保険株式会社

弊社では、CSR活動の一環として、今年度より静岡市内の3部店が協力して、使用済み切手とベルマークの収集活動を開始しました。途上国や東日本大震災被災校の支援に貢献できるよう継続的に取り組んでまいります。



松林工業薬品株式会社

当社では、省資源活動の一環として、使用済み切手の回収を行っています。受領する郵便物も多いため、切手の回収は手間のかかる作業になります。しかし、毎日の地道な活動が社会貢献に繋がることが実感できるため、今後も継続的に回収に取り組んでいきたいと思っています。

「小さな親切」運動静岡県本部顧問・役員

【顧 問】

	所 属・役 職 名	役 員 名
名誉顧問	静岡県知事	川勝 平太
顧 問	静岡県議会議長	鈴木 洋佑
	静岡県教育委員会教育長	木苗 直秀
	静岡県警察本部長	筋 伊知朗
	静岡県立大学学長	鬼頭 宏
	静岡県市長会長(伊東市長)	佃 弘巳
	静岡県町村会長(吉田町長)	田村 典彦
	静岡県健康福祉部長	山口 重則
特別顧問	株式会社静岡銀行 特別顧問	松浦 康男

【県本部代表】

	所 属・役 職 名	役 員 名
代 表	株式会社静岡銀行 取締役	後藤 正博

【県本部副代表】

	所 属・役 職 名	役 員 名
副 代 表	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 会長	神原 啓文
	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	後藤 康雄
	浜松信用金庫 理事長	御室 健一郎
	株式会社木村鋳造所 名誉会長	木村 博彦

【理 事】

	区分	所 属・役 職 名	役 員 名
理 事	新聞社	朝日新聞社静岡総局 静岡総局長	田中 敏行
		静岡新聞社 取締役総務局長	渡邊 治彦
		中日新聞東海本社静岡総局 静岡総局長	五十住 和樹
		毎日新聞社静岡支局 静岡支局長	田中 泰義
		讀賣新聞東京本社 静岡支局長	高橋 徹
	放送局	日本放送協会静岡放送局 静岡放送局長	桜井 茂樹
		株式会社静岡朝日テレビ 代表取締役社長	北澤 晴樹
		株式会社静岡第一テレビ 代表取締役社長	桜田 和之
		静岡放送株式会社 代表取締役会長	松井 純
		株式会社テレビ静岡 常務取締役	高橋 均
	東部地区 企業	臼井国際産業株式会社 代表取締役会長	臼井 隆晶
		株式会社小林製作所 常務取締役	小林 一哉
		近藤鋼材株式会社 代表取締役社長	近藤 千秋
		大興製紙株式会社 代表取締役	等 健次

(平成29年2月末日現在・敬称略)

	区分	所 属 ・ 役 職 名	役 員 名
理 事	東部地区 企業	パーパス株式会社 代表取締役社長	高木 裕三
		二葉建設株式会社 代表取締役社長	勝間田 久嗣
		株式会社ホテル銀水荘 代表取締役社長	加藤 昌利
		丸富製紙株式会社 代表取締役社長	佐野 武男
	中部地区 企業	木内建設株式会社 代表取締役社長	木内 藤男
		静岡ガス株式会社 代表取締役会長	岩崎 清悟
		静岡鉄道株式会社 代表取締役社長	今田 智久
		鈴与株式会社 代表取締役副社長	西尾 忠久
		東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 静岡支店長	大野 博仁
		株式会社TOKAIホールディングス 代表取締役	真室 孝教
		特種東海製紙株式会社 代表取締役社長	松田 裕司
		日本軽金属株式会社蒲原製造所 蒲原製造所長	柴田 正昭
		株式会社ホテイフーズコーポレーション 代表取締役社長	山本 達也
		焼津水産化学工業株式会社 代表取締役社長	山田 潤
	西部地区 企業	遠州鉄道株式会社 代表取締役社長	斉藤 薫
		株式会社コーシンサービス 代表取締役会長	青島 安宏
		株式会社榛葉鉄工所 代表取締役会長	榛葉 正志
		スズキ株式会社 常務役員	山村 茂之
		浜松倉庫株式会社 代表取締役社長	中山 彰人
		富士機工株式会社 代表取締役社長	村瀬 昇也
		株式会社丸八ホールディングス 取締役副会長	岡本 八大
		ヤマハ株式会社 執行役員 人事・総務本部長	高井 正人
		株式会社ユニバンス 代表取締役会長	鈴木 一和雄
	金融機関	一般社団法人静岡県信用金庫協会 常務理事 兼 事務局長	永野 英行
		スルガ銀行株式会社 理事 カスタマーサポート本部 部長	井上 尚孝
	団 体	一般社団法人ガールスカウト静岡県連盟 連盟長	土橋 節子
		静岡県PTA連絡協議会 事務局長	橋本 ひろ子
		特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 理事長	神田 均
		一般財団法人静岡県老人クラブ連合会 会長	松本 庄次
		静岡ロータリークラブ 会長	久保田 隆
		一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長	前澤 侑

【会計監事】

	所 属 ・ 役 職 名	役 員 名
会計監事	みずほ銀行 静岡支店長	柏木 幸司
	明治安田生命保険相互会社 静岡支社長	新井 健一

みなさんの身近にいる「親切さん」を推薦してください

「小さな親切」実行章の推薦から受章までのながれ

Step1 | 親切さんを見つける

あなたが見たり、受けたり、新聞などで読んだ親切さんを推薦してください。
誰でも推薦ができ、誰でも受章できます。たとえば…

清掃・花植えなどの環境美化活動

- ・河川の清掃を続けている
- ・公園の花壇の整備を続けている

社会奉仕活動

- ・老人福祉施設へ慰問活動をしている
- ・点字や朗読のボランティア活動をしている

困っている人への援助

- ・道に迷っていたところを家まで送ってあげた

その他の親切行為

- ・子どもたちの登下校の見守りを続けている

どんな親切さんを
推薦したらいいの？



Step2 | 推薦文を書く (右ページの推薦用紙をコピーしてお使いください)

推薦用紙に、「いつ、だれが、どんな親切をしたか」を具体的に詳しく書き、以下のいずれかの方法で「小さな親切」運動静岡県本部に送ってください。ホームページからも送ることができます。

FAXで送る



郵便で送る



HPから送る



いつ・どこで・誰が
どんな親切をしたか



Step3 | 受章の決定と発表

公益社団法人「小さな親切」運動本部（東京）の選考委員会にて受章者を決定し、受章者と推薦者に静岡県本部からご連絡します。

なお、運動本部（東京）のホームページ、新聞に受章者名が掲載されます。

Step4 | 感謝を込めて贈呈

個人の方へは賞状とバッジをお贈りし、団体の方々には賞状をお贈りいたします。



「小さな親切」実行章を推薦して、ありがとうございますを伝えましょう



「小さな親切」実行章推薦用紙



推薦日 年 月 日

個人	団体
氏名（ふりがな） (歳)	団体名（ふりがな） 代表者氏名
自宅住所 〒 —	連絡先住所 〒 —
TEL :	TEL :
所属先 所在地	人数： 名 内訳：大人（ 名）中学生（ 名） 小学生以下（ 名）
実行内容（具体的に詳しく・新聞や活動中の写真などがありましたら添付してください） ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	

推薦者

氏名	住所 〒 —
TEL :	FAX :

実行章の贈呈方法について（希望方法のいずれかに○印をおつけください）

1. 推薦者から伝達	2. 受章者宛に直送	3. 「小さな親切」運動静岡県本部から贈呈
------------	------------	-----------------------

<個人情報の取扱について>

推薦用紙に記入された個人情報は、「小さな親切」運動の活動（含、新聞掲載）以外には使用いたしません。

「小さな親切」運動静岡県本部

〒424-8677 静岡市清水区草薙北2-1 静岡総合サービス株式会社内
TEL : 054-347-3712 FAX : 054-344-0401

編集後記

平成9年2月の発足以来、会員の皆さまをはじめ地域の方々のご理解とご協力をいただき、おかげさまで創立20周年の節目を迎えることができました。

この機会に20年のあゆみを紐解きながら、運動にご尽力いただいた皆さまに敬意を表するとともに、これまでの活動を風化させることなく、次代に伝えることが私たちの大切な使命であると考え、創立20周年記念誌を発行することとなりました。

振り返りますと、創立時の主な活動はクリーン作戦でしたが、最近では、各地域のNPOと連携して、里山づくりにも力を入れています。さらには、青少年の心の育成事業として、小中学校でのあいさつ運動や、県本部主催の作文コンクールなどもスタートさせました。

この記念誌は、創立当初からの活動の様子を、会員の皆さまに「見やすく・わかりやすく・シンプルに」伝えたいという思いで制作にあたりましたが、いかがでしたでしょうか。

記念誌の発行にあたり、ご協力いただいた方々に心から感謝申し上げますとともに、本誌が今後の活動の道しるべとなり、少しでもお役に立つことができたと願っています。

「小さな親切」運動静岡県本部 事務局

発 行 者 「小さな親切」運動静岡県本部
代 表 後藤正博
事 務 局 〒424-8677 静岡市清水区草薙北2-1 静銀総合サービス株式会社内
TEL：054-347-3712 FAX：054-344-0401
ホームページ <http://www.across.or.jp/kindness/>
発 行 日 2017年3月
印 刷 所 春日印刷工業株式会社



Small Kindness Movement

「小さな親切」運動静岡

『小さな親切』運動



「小さな親切」運動静岡県本部は、静岡県の森づくりを応援しています。この印刷紙には、林地に捨てられる間伐材を資源として活用する費用の一部が含まれています。